

Desert Wind

Vol. 56, July 2011

●● あなたは新しくされた人 ●●

LVJCC 牧師: 鶴田健次

私が生まれ育った所は、周りが山と田んぼと畑で、小川が流れ、今から思えば、実に素晴らしい自然環境で子供時代を過ごせたのだと思います。もちろん、その当時は考えたこともありませんが、自然界には神の恵みのしるしが至る所に見られます。その中には、罪人が聖人に変えられるという真理を物語るようなしるしもあります。たとえばイモムシが美しい蝶に変ることなどはその一つです。

イモムシは醜い姿をしています。定められた時が来ると説明のつかない不思議な変化が起こります。イモムシは、卵から孵化すると幼虫と呼ばれる形態を取ります。そして幼虫から蛹(さなぎ)になり、それから成虫になりますが、蛹になったイモムシは半透明のフィルムのようなものに覆われ、その中で、全く違う形態である美しい蝶に変身します。このように、動物の形がその成長の過程で全く違う形に変身することを生物学では変態と言います。

さて、使徒パウロは、II コリント 5:14-21 で、いわば霊的な変態について語っています。ここでパウロは、『だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である』と語っています。かつて私たちは一見なんの価値もないイモムシのように地面を這いずり回るような生活をしてきた者でした。しかし、そんな私たちがイエス・キリストを信じ、聖霊の働きによって霊的な変態を経験し、自由に羽ばたく蝶のような存在に変えられたのです。この霊的な変態は、私たちに様々な新しい変化をもたらしました。

① 新しい人生が与えられる

14、15 節を見ると、パウロは、自分のためにキリストが死んで下さったことを経験した人は、もはや自分のために生きるのではなく、自分のために死んで下さったキリストのために生きる

のだと言っています。クリスチャンは、もはや自分の名声のため、また自分をよく見せるために生きるではありません。クリスチャンの新しい人生は、キリストをよく見せるために生きるのだということです。私たちは、とかく自分を良く見せようと思いますが、むしろキリストをよく見せるように生きることが大切なことなのです。

② 新しいアイデンティティーが与えられる

まず 21 節で言われていることは、神の前に有罪判決を受けていた私たちの罪をキリストが肩代わりをして下さったことにより、私たちは神の前に無罪判決を言い渡され、新しいアイデンティティーを与えられたということです。また 17 節の言葉も、キリストにあつて私たちの古い過去はすべて清算され、新しく造られた者として新しいアイデンティティーを与えられたということです。

アイデンティティーとは、簡単に言えば、自分は何者であるかということ、あるいは最終的に自分はここに帰属するのだという意識です。ですから、アイデンティティーは自分の生き方に非常に大きな影響を与えます。つまり、神の子、世の光、神の作品、天に国籍を持つ者、神の相続人などというアイデンティティーを与えられた私たちは、そういう人生を生きようになるのです。

③ 新しい人生の目的が与えられる

18-20 節において、パウロは、神は私たちの人生に新しい目的を与え、この新しい目的が私たちの人生の要になるのだと言っています。パウロは 5 章の前半で、私たちの体がいかに切なるうめきをもって天国に行くための永遠に朽ちない体を得ようとしているか、また私たちはどのようにして天国に住む者とされるのかということ語っています。

そして 20 節において、彼は、それが私たちの生きる目的であると言っています。つまり、死後の世界が本当であり、永遠の天国と地獄が本当にあるのであれば、そのことを知った私たちの生きる目的は、それを知らない人々にこの天国の恵みを伝えることではないかとパウロは言いたいのです。

DREAMS COME TRUE

- ✠ 教会堂の建設
- ✠ 敬老ホームの設立
- ✠ 幼稚園の設立

お祈りのリクエスト

- 日本の家族の救いのために
- 各スモールグループのオイコス伝道のために
- 入門者クラスのために 山口兄
- 英語部の働きのために
- ユースミニストリー、サンデースクールのために
- 癒しの祈り: 恵理奈ちゃん、倉田一徳さんの脳腫瘍、小林豊兄の癌、神崎先生の日、植木ケン兄の糖尿病、新井雅之兄の癌、中村裕二先生の直腸癌、藤永君江姉の癌、Simeon 兄の癌、スカイ君の心臓、工藤忠行兄の癌

Desert Wind では、ご意見・質問等何でも受け付けております。

lvjccdw@hotmail.co.jp

発行: 鶴田健次

編集: 松岡みどり



編集室より

他人の欠点は見えても自分の欠点は見えないもので、知らず知らずの内に人の態度が変わってくる。一体どうなっているのかとあれこれ考えるが一向に思い当たらない。それもそのはず、たとえ人の会話には出ても、自分の話題は自分には知らされる事はまずない。なので今までの自分を続けることになるが、それも回を重ねれば人の解せぬ反応を見て我が身を振り返ったりもする。そんな時、傲慢で砕かれていない自分を発見して、人に不快感を与えていたことを恥じ入る。そして悔い改める。

しかし、相手の理不尽な態度に接した時、「ハッキリ言ってくれればいいのに」と思うことがある。が、「いやいや、あの時言われなくて良かった」と後になって胸を撫で下ろすことも良くある。そもそも言われて冷静に聞けるだろうか・・・そんな愚か者の私である。

●● 今わかる 導かれていたことが ●●

証し 坂東一郎

今回、私の救いの証しをする恵みを与えて頂き、心から感謝します。

私は、1935年に四国徳島の阿野村という田舎で、5人兄弟の三男として生まれました。前に山、後ろに川という伸び伸びとした自然環境の中で、野山を走り回るガキ大将として育ちました。終戦の時は10歳で、山の向こうの徳島市内在、空襲で空が真っ赤に染まり、花火のように見えました。その中を妻(当時3歳)が逃げ回っていたとは夢にも思いませんでした。

学校を卒業して、東京の高円寺に就職し、28歳で結婚し、一人娘の一美が生まれました。職業は、材木店で24年間働き、後に水道設備の仕事に転職しました。リタイアするまで、私は仕事だけで、家の事、子供の事は妻に任せっきりという典型的な日本人男性で、平凡に生きて来ました。

そんな中、子供はアメリカに留学し住むようになりました。2005年の春、子供からアメリカで一緒に住まないかと誘いに、「いいよ、行く行く」と二つ返事で答えました。妻はまだ仕事に未練があったようです。

住んでいた東京の家を処分し、3ヶ月後にはラスベガス来ていました。しかし、手違いがあり、3年の間、日本とアメリカを行ったり来たりで、どうしたものかと本当に困りました。日本では住む家もなく、そのために兄弟の家で世話になることになりました。おかげで、疎遠になっていた兄弟姉妹とは仲良くなり、もっと絆が深まりました。そして今は、毎日のように電話で話しています。

ラスベガスに来た時は、すでにクリスチャンになっていた娘に教会に連れて行ってもらい、たくさん友達にも恵まれ、お祈りしてもらい、多くの励ましを受けました。その間、入門クラスを取り、イエス様の愛と十字架の意味が解かり、夫婦ともイエス様を信じて洗礼を受けることができました。この頃から、日本とアメリカの往復が楽しくなりました。神様の御心でこのようになったと思えます。

2009年に、グリーンカードも無事に取る事ができ、

ドライバーライセンスも9回目に取れました。これでやっとアメリカに住めるようになり、長い道のりでしたが、諦めずにやり遂げることができたのも神様の励ましがあったからです。

ラスベガスには今、娘家族3人、私達夫婦と、近くに住んでいる留学で来た私の姪っ子を合わせて家族が6人になりました。皆健康で、感謝な毎日を過ごしています。その姪っ子の光世も、去る6月19日の礼拝において洗礼の恵みにあずかり、私達家族の長年の祈りが聞かれたことを心から主に感謝します。このように神様は、私達が熱心に捧げる祈りを聞いて下さる事を経験しました。これからは日本にいる兄弟姉妹が一日も早く救われる事が、祈りの課題となりました。

子供の世話を妻に任せっきりだった以前の私は、毎日孫の世話をする事で日本での妻の苦勞がいかに大変だったかが身にしみて感じ、今は妻に心から感謝しています。毎週金曜日に持たれる松岡兄弟の家での聖書の学びに参加していますが、それが楽しくて仕方がありません。やはりクリスチャンは神様の御言葉によって養われ、霊的に成長するのだということを思い、このような機会が与えられていることを主に感謝しています。

2005年の春、人生の大半を過ごした日本を離れ、遠いアメリカの地で永住する決断をしたのは自分だと思いましたが、今はすべてが神様の計画の中で、この地に導かれたのだと分かります。

真の神様との出会いにより新しく生まれ変わった私は、これからの生涯を、神に仕え、教会の働きを担い、豊かな勝利の人生を歩んで行きたいと願っています。神様を主として歩む私の人生は、なんと恵まれ感謝に満ちあふれたものでしょうか。私達夫婦を導き、祈ってくれた娘の一美、それから背後にあって多くの祈りで支えて下さった兄弟姉妹に心から感謝します。

あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである。そして、あなたがたを立てた。それは、あなたがたが行って実を結び、その実がいつまでも残るためであり、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものはなんでも、父が与えて下さるためである。(ヨハネ 15:16)